

第12回小説現代長編新人賞受賞作決定のお知らせ

拝啓

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、7月3日の選考会（選考委員・朝井まかて氏 石田衣良氏 伊集院静氏 角田光代氏 花村萬月氏）におきまして第12回小説現代長編新人賞受賞作が決定いたしましたので、お知らせいたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

* 受賞作

『幕末ダウタウン』

葭森 大祐（よしもり・だいすけ）

* 奨励賞

『ネカフェナーズ』

李 周子（り・しゅうこ）

著者略歴及び受賞作梗概は別紙にてお送りいたします。

受賞作抄録は、「小説現代」12月号に掲載予定です。

また、単行本は、文芸第二出版部より来年1月に刊行される予定です

●過去の受賞一覧

第一回	受賞者 ヴァンシ章絵	ワーホリ任侠伝
	奨励賞 中路啓太	火ノ児の剣——新井白石斬奸録
第二回	受賞者 田牧大和	花合せ—濱次お役者双六—
	奨励賞 火田良子	東京駅之介
第三回	受賞者 斎樹冥琴	地獄番 鬼蜘蛛日誌
	奨励賞 朝井まかて	実さえ花さえ、その葉さえ
第四回	受賞者 加藤元	山姫抄
第五回	受賞者 塩田武士	盤上のアルファ
	奨励賞 吉川永青(ながはる)	我が糸は誰を操る
第六回(この回はダブル受賞です)	受賞者 長浦 京	赤刃
	受賞賞 吉村龍一	焰火
第七回	受賞者 仁志耕一郎	玉兔の望
	奨励賞 朝倉宏景(ひろかげ)	白球と爆弾
第八回	受賞者 中澤日菜子	柿の木、枇杷も木
第九回	受賞者 小島環	三皇の琴 天地を鳴動さす
第十回	受賞者 坂上琴	ヒモの穴
第十一回	受賞者 泉ゆたか	お師匠さま、整いました!
	奨励賞 城 明(じょう・あきら)	あの頃トン子と

* 受賞作：『幕末ダウタウン』梗概

慶応三年、京四条の河原町——鴨川の河原には葎簀張りの見世物小屋が建ち、川沿いには劇場の幟がはためている。その光景はつい最近新選組に入隊したばかりの濱田精次郎の目には嘘くさく映っていた。サムライたちが夜ごと血で血を洗っている激動の時代にはあまりにも平和に見えるからだ。その矛盾する様相に複雑な感慨を抱きながら大橋の欄干にもたれかかっていた精次郎へ声をかけてきた者があった。見ると、彼がかつて大坂船場の賭場で用心棒をしていた頃知り合った藤兵衛である。桂文枝という噺家であるこの男は、博打好きが高じて借金を抱えたあげく噺のネタを質草に取られ、その結果高座に上がれなくなり京へと流れてきたのだという。そのいきさつもさることながら人の気をそらさない話術によって、精次郎はいまだ手柄を立てられずにいる屈託をつい明かしてしまう。気の良い文枝はすぐさま協力を申し出るのであったが、その内容は驚くべきものだった。文枝は精次郎へ四条河原亭の舞台に立ち「新選組漫談」をやるように進言したのである。そんなふざけた真似がサムライである精次郎にできるはずのものではない。しかし、寄席という場所はいろんな人間が出入りする、情報の宝庫だというのである。そこに身を置くことで長州や薩摩に関する有益な情報を掴める可能性があるのだとも。そして精次郎と文枝の前に長州藩士とつながりがありそうな絶世の美女が現れる……。

* 著者：葎森 大祐（よしもり・だいすけ）プロフィール

1968年7月7日東京都文京区生まれ。慶応義塾大学文学部卒業。'93年に某電気メーカーに入社し、現在も在職中。5年前より小説を書き始め、小説現代長編新人賞は今回で4回目の応募となる。都内在住。

* 奨励賞：『ネカフェナース』梗概

桑原ひまりはネカフェを転々としながら派遣ナースとして働いている。ネット経由で来る依頼で、主に家で介護をしている患者のところに赴き、看護をするのが仕事だった。

派遣先の事情はさまざまだが、家族が旅行をしたり外出して羽を伸ばす間の留守番しながらの介護では、ミュージシャン志望で恋人の宗一を派遣先に呼んで、二人で好き勝手に過ごしたりしている。

ある日、宗一にだまされて借金の保証人にされていたひまりは、彼が逃げたため借金取りに追い詰められることになる。

ひまりは病院に勤めていたとき、あるミスを犯したことが怖くなり、病院からも実家からも離れてネカフェで寝泊まりを続けていたが、進退窮まって実家に戻った。事情を聞いてこない両親との平穏な暮らしが始まるが、やがてそこへも借金取りがやって来る。

そんなとき父親が脳梗塞で倒れ、自宅での介護が必要になる——。

* 著者：李 周子（り・しゅうこ）プロフィール

1969年埼玉県大宮市生まれ。春日部准看護学校卒業の現役ナース。20歳代にはアルバイト生活しながら小劇団に所属して舞台に立っていた。2000年頃から小説を書き始め、さまざまな賞への応募を続けていたが、今回受賞しなければもうやめようと思っていた。ペンネームの李は好きな映画「風と共に去りぬ」のピビアン・リーから、周は山本周五郎から拝借した。埼玉県さいたま市在住。